

木とともに暮らす

T A S 建築設計事務所
柴田利実

木曾五木を使った名古屋市守山区大森に建つ住宅を紹介する。

屋根を(株)大佛(京都)のいぶし平板瓦で葺き、外壁は小舞を組んだ荒壁の上に、漆喰と色土を混ぜた「ハンダ」と呼ぶ創作壁で仕上げている。外部に表しになっている柱・梁・巾木・建具は檜(ヒノキ)。駐車場の建具は檜葉(ヒバ)。檜戸を引いて内部に入ると、床は瓦敷きで柱・梁・床板・下足入は檜。式台・上框は水目桜。座敷の障子・照明枠は黒檜(クロベ、ネズコ)。浴室の壁・天井の板は樺(サワラ)、風呂桶は高野槇(コウヤマキ)で、建築主が木曾上松の職人に直接注文、柱・梁の檜も建築主が御岳麓の製材所から取り寄せた。

木・土・和紙で造られたこの家を夏に訪れるとすーっと汗がひくのを感じられる。あらためて日本の風土には、日本で採れた材料を使った住宅が、いかに暮らしやすいかを体感させてくれる家である。

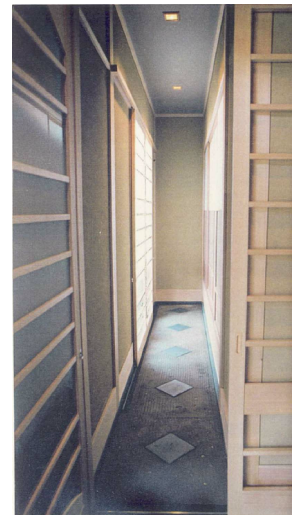
建具制作：(株)トクダ(京都)



玄関



北外観



玄関



浴室



居間



座敷